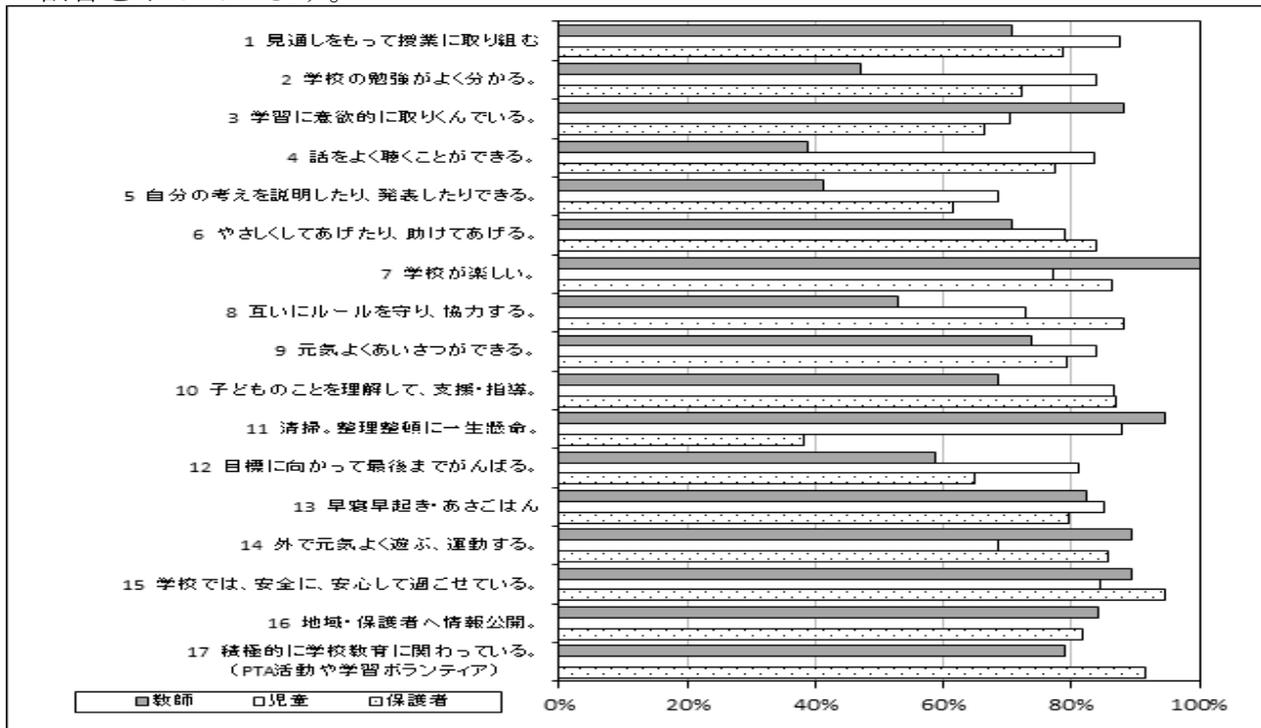


平成27年10月5日

森町立宮園小学校 学校たより 第12号

燦たけい宮園

保護者の皆様には、1学期末に第1回目の学校評価のアンケートに御協力いただきありがとうございました。子どもたち、保護者の皆様、職員によるアンケート結果から、本校の良さや課題を捉え、今後の指導に生かしていきたいと思えます。下記のグラフは、「とてもそう思う」「そう思う」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」という4段階で評価していただいたもののうちから「とてもよい」「よい」というプラス評価された人数の割合を示しています。



アンケートの結果から特に、

- ① 「話を聴いたり、自分の考えを話したりする」
- ② 「規範意識やマナー(挨拶、靴・スリッパそろえ、廊下歩行)を守る」
- ③ 「目標に向かって最後まで頑張る」

を課題と捉え、対応策を考えました。

【課題①：対応・改善策】

- ・「聴く」「話す」の具体的なモデル(姿)を掲示等で示していきます。
- ・道徳性を育む(聴こうとする態度を養う)ことに力を注ぎます。
- ・相手を意識して話す機会を設定するとともに、落ち着いて(静かになって)聴くことができる雰囲気づくりを大切にしていきます。

【課題②：対応・改善策】

- ・「教える」、「認め褒める」の両輪で、子どもたちの力で修正できるように努めていきたいと思えます。
- ・公共の場のモラルとして、特にトイレのスリッパの整頓ができるよう指導していきます。

【課題③：対応・改善策】

- ・学習や活動に対して一人一人に目当てをもたせ、計画的に取り組むよう指導します。
- ・家庭との連携を図り、学校と家庭の両面から子どもを励まし、達成感を味わせていきます。

学校では、「とてもそう思う」と「そう思う」の割合（支持率）が高い項目については、これからも気を緩めることなく、子どもたちのためによりよい学校を目指し、頑張って教育活動を進めていきます。今後とも御支援・御協力をお願いいたします。

<自由記述欄について>

自由記述欄には貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。その中から、以下の5点について触れさせていただきます。

【子どもの自尊感情を高めるための教師の心構えについて】

- ・心にゆとりをもって、子どもの話に耳を傾け、教師の言葉遣いや話し方にも気を付けます。
- ・よい表れ（「こういうところがいいですね」「～ができてよかったです」等）を具体的に伝えます。
- ・「こういうことができるといいです」「こういう姿を目指しましょう」等、姿のイメージをもたせていきます。
- ・「～をしてくれてありがとう」と書いたカードを掲示したり、声掛けをしたりして学級・学年や全体に広めていきます。

【個別対応について】

- ・子どもがどういう状況にあるのか、どういう支援が必要かを全職員が共有し、職員同士が連携して子どもたちの指導に当たっていきます。
- ・子ども理解に努め、適切な対応や声掛けができるよう力を注ぎます。

【警報が出て休校になるときのメールについて】

- ・午前11時までに警報が解除されない場合も一斉メールを正午までに流します。昼食時の休憩時間帯に確認してください。

【授業について】

- ・職員同士が連携し合いながら研修に励み、子どもがめあてをもって自ら意欲的に取り組める授業を目指していきます。

【家庭学習について】

- ・学年の発達段階に応じた内容を学級間で差が出ないように進めていきます。保護者の皆様には「家庭学習のてびき」等を活用していただき、今まで同様、御協力をお願いいたします。

その他にも貴重な御意見をいただきありがとうございました。子どもたちが安定した学校生活を送ることができるよう、今後とも保護者の皆様との連携に努めてまいります。どうぞよろしくをお願いいたします。

保護者対象の情報モラル講座

9月25日(金)に、e-ネットキャラバン講師の畠中幸一氏をお招きして、保護者対象の情報モラル講座を実施しました。畠中氏からは、インターネットを中心に、ネット社会が抱える問題点や子どもが注意しなければいけないことを、実際の事例をもとに解説をしていただきました。また、フィルタリングソフトの有効性ととも、保護者がフィルター役になることの大切さや、子ども自身が情報を選択・活用できるよう成長を促す大切さを話していただきました。総務省や文部科学省が示す情報モラルだけでなく、随所に畠中氏の考えをうかがえ、参加された保護者からも具体的で分かりやすいという感想をいただくことができました。



